

国分寺報

発行
 真言宗国分寺派
 大本山国分寺教学部
 〒531-0064
 大阪市北区国分寺
 1-6-18
 06-6351-5637
 発行責任者 糟谷 眞教



ご挨拶

たくさんのご縁いただき感謝

真言宗国分寺派 管長
 大本山国分寺 座主
 合田 和教

快圓律師中興300年記念大法会をつとめさせていただき、檀信徒の皆様、また末寺教師の皆様、何年にも渡る準備から御指導・御支援を心より感謝し御礼申しあげます。

記念法要を終え楽しい時間を過ごせたと、ひとつひとつ思い出し、本尊薬師如来様はじめ国分寺の御仏様の御加護の中、この日に縁をもって参集していただいた皆様と一緒にたくさん縁を頂くことが出来た事に感謝し喜んでおります。

参拝していただけた皆様には、中曲理趣三昧法要を中心に3つの法要、また境内では青空説法と阿字観等々を体験していただき、今までの国分寺会にはない多くの僧侶と接していただけたと思えます。また数々の思いを持ち、個々の立場で勉強し努力し必死になる素晴らしい時間を与えていた

き、喜びを感じています。

今後とも一歩ずつ前を向いて次の法要を皆様と一緒に創っていきましょうと思います。

皆様から気遣いをいただき、気遣いを学び・想いやりを感じ、想いやりの大切さを学ばせていただき、貴重な時間を共有出来た事に感謝いたします。

今後共、より一層の御指導・御鞭撻をお願い申し上げます。

合掌

国分寺地藏盆会のお知らせ

とき 8月23日(木) 16時
 ところ 国分寺境内

たくさんの子どもの参加を。

国分寺ではご接待、数珠廻しなど楽しい催しを企画しています。

人生の添え木のような寺に

大本山 国分寺顧問会会長 中村 興司



大阪府北部を震源とする地震により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様にお見舞い申し上げます。

6月18日午前に最大深度6弱を観測した直下型地震は、大阪府を中心とした近畿一円で交通機関をストップさせ、一部地域ではガスや水道供給も停止させました。大阪府で震度6弱以上の揺れを観測したのは、気象庁が地震観測を始めて以来、初めての事だったそうです。これだけ科学やテクノロジが進歩しても、地震や津波、洪水などの災害を正確には予測する事は難しく、自然の脅威に対して人間の無力さを感じます。

最近はこの様な大きな地震が発生するたびに、不安を煽るSNSが飛び交う事が増えました。今回も「動物園のシマウマが逃走している」といったものから、「野球チームの屋根に亀裂が入っている」、「電車が脱線している」、「6月21日に大地震が起きる！」など根拠の全くない偽情報が地震発生後にSNSを通じて流れたそうです。

災害時を含め、どんどん広がりを見せております。SNS等の情報の進化には時代の流れを感じます。道具に使われるのではなく、自分をしっかりと持って、道具を使っていききたいと思えます。しかしながら、自分をしっかりと持つ、という事はなかなか難しいかもしれません。悩んだり、迷ったりした時にこそ、気軽に立ち寄りたくなる、心の落ち着く場所として、皆様の「人生のそえ木」の様な存在に国分寺がなれば嬉しく思います。

当日は朝からの雨が上がり、快晴の中、お稚児さんのお練り供養、結縁灌頂、300年記念法要が滞りなく行われ、大勢の皆さまに見守られる中、無事に終える事ができました。これもひとえに皆さまからのご支援、ご協力による賜物でございます。顧問会を代表し、心より厚く御礼申し上げます。

またこれからも、お参りに来てよかったです。心が落ち着いたと、年齢・性別に関係なく、皆様方に言って頂けるような国分寺である様に活動して参りたいと思います。今後も引き続き、皆さまのご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。 合掌

インパクトを与えてくれたある言葉 そしてたくさんの方々の協力に支えられ

中興三〇〇年大法要 会奉行 田中 全義

盛夏の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。

行としての役割を全うすることにはいささかの自信がありました。

5月中旬のこと、本山にて2日間にわたり、中興300年を祝う大法要を無事に修行させていただきました。まずは開催成功にご協力頂いたこと、深く御礼申し上げます。貴重なこの記念事業で、会奉行の役目を本山より頂戴しました。法要や結縁灌頂、その他行事の企画という、会奉

ました。ところが全国の末寺の先生方や、手伝ってくださいました教師の方々へのご協力をお願いや改めての勉強会の開催、スタッフの方々への行事内容の企画提案や修正、会議に講習会などもあり、当日の終わりにいたるまで大きな責任と緊張感が常にありまし



た。会奉行を任命頂いてから、法要まで約1年半の準備期間、皆と共に進んで参りました。その中で、沢山の大切な事に気付かされました。本山職員一同は中興への思いを中心に一丸となって、全国の末寺様に講習会、習礼

を繰り返して行いました。すると私の中で、なかなか上手くいかないことや、課題ばかりが増え、怖くなることもありました。しかも時間は容赦なく進んでまいります。その時、私の顔を見た末寺のある先生に「田中さんが言っていたように私たちが動きまわりますから、ご遠慮なく言ってください。田中さん仰っていたことができました。この言葉は理想を追いかければかりだった自分に、大きなインパクトを与えてくれました。結果、中興法要は私の理想ではなく、私が描いた理想以上の結果になっております。 合掌

理想に頼らないようにしたいです。書きたいことが多すぎて、文章ではお伝えしきれませんが、この1年半間支えて頂いた、職員の方々、末寺の方々、スタッフの方々、本当にありがとうございました。自坊にてもこの経験を活かして精進して参ります。

阿字観はお大師様の瞑想法 思考と呼吸の気づきの体験

明王寺 佐藤 実峰

5月の国分寺には珍しい清々しい天候の中、快圓律師中興300年記念大法会が執り行われました。法会の様子などは諸大徳の寄稿文の通りでございます。

私共は、法会への出仕はもちろん致しましたが、この度は阿字観の講師を任せられました。結縁灌頂を待っている方、若しくは終えた方に阿字観という真言宗に伝わるお大師様が作られた瞑想法を体験していただくのが役目でした。しかし、外では青空説法



でもとても面白いお話をされておりましたので、参禅いただけるか不安でしたが、一座目には35名ほどの方と、続いて二座目にも35名ほどの方と、

三座目には二座目に入れたかった6名の方と一緒に座らせていただきました。2日目にもまた面白いお話を青空説法でしてらっしゃるのを聞いて、ちょっとその面白さに嫉妬いたしました。出しゃばって外で一座させていただきました。私共は普段、数多くの情報、仕事やたくさんの方々の娯楽の中にいて心も体も引切り無しに動いていて、思考も休まることがありません。そんな生活が当たり前でそのことに疲れていることさえ分からなくなっています。ですので阿字観という瞑想の時間で思考を休ませて、自分と向き合う時間を作ることはとても有意義なことなのです。また、瞑想の基本は呼吸ですので、



ゆつたりと呼吸をすることで今まで自分がいかにちゃんと呼吸ができていなかったか、浅い呼吸をしていたか気づくことができました。ではないでしょうか。今回の法会はとても大掛かりなものでした。各々が各々の役割を理解し懸命にその役

割を果たすことができたからこそこの大法会を成功させることができ、お越しの皆さんにも気持ちよくお参りをしていただけたのだと思います。密教の基本は体験です。今回は沢山の体験をしていただきました。阿字観もその一つでありました。ご参禅いただいた方々のお声をあまりたくさんお聞きすることができませんでしたが、直接「いい瞑想だった」というお言葉を頂戴したり、また、人伝で満ち足りて帰られたことを伺いました。阿字観を皆さんに知っていただくことができて、とても良かったです。これからも益々普及に努めて参りたいと思います。興味のある方は是非一度座ってみてください。

「御縁、有り難し」

結縁灌頂、快圓律師中興300年記念 大法要を終えて

青龍山慈恩寺 住職 村山 晃照

去る平成30年5月19日、20日、結縁灌頂、快圓律師中興300年記念大法要を迎え、慈恩寺からは170名の信者様と共に両日参加させて頂きました。

深い仏縁に有り難くも靈妙不可思議な仏力と因縁を感じた。2日間でした。

来ました。

大阿闍梨様が御薬師様の御名代となり一人、一人に結縁灌頂をお授け頂き、一人、また一人と晴れやかな心と笑顔になり、ある者は御薬師様のお姿に自然と涙が溢れ、ある者は迷いの闇から光明へと転じ生きる力を得、またある者は死の恐れから解き放たれました。

結縁灌頂を受けられた信者様の話を聞く度に、一人一人の心に受けた光がその人に応じた方便「手段」であり、様々な感じ方と救いの多様性、仏様の慈悲と智慧の深さに改めて胸が熱くなります。

快圓律師中興300年記念大法要、合田和教管長猥下導師の元、庭讀、理趣經中曲行道法会・護摩等が行われ、



頭をよぎり、読経中経本と仏様が滲んでいました。入宗間もない私の愚弟子も参加させて頂き、忘れ得ぬ経験となり、この経験は宝となりました。

また、末寺の私から失礼ではありますが大変なお役目を勤められました田中全義会奉行へ労いの言葉と感謝の言葉を御贈り致します。

慈恩寺では一人一人が仏性を信じ、仏としての自覚を持って、世の為、人の為、和の為、先の世の全ての生命の為に「生きる」事を基本とし、「懺悔、供養、報恩、感謝」を常にお伝えしています。

本山との、この御縁を大切にすることもっと御縁を重ね、益々心を正し、今世での徳を積み、一人でも多くの方への助けとなり支えとなれますよう、精進致します。

最後に、この御縁を頂きました、合田和教管長猥下、糟谷眞教宗務総長、本山職員の方



皆様、末寺職衆の皆様、承仕の皆様、多くの檀信徒様、心より御礼申し上げます。また、今は亡き師匠、覚照阿闍梨へ、「私は頑張っていますよ、先生、弟子にしてくれてありがとう。先生の弟子となつた時、御縁が動き始めました。」

「御縁、有り難し。」

晃照

「御縁を大切に想う」 毘紅山龍最寺

黒木 法教

2日間に渡る大法要「国分寺会」が厳修されましたこと、誠にありがとうございます。

また、各末寺の皆さまに於かれましては出仕ご苦労さまでございました。今回は、お練りから始まり結縁灌頂、阿字観、先師縁故者追善法要、そして中曲理趣三昧と沢山の内容で皆さまが一丸となった集大成でございました。「摩尼、自ら宝に非ず、工人能く

鑿く」お大師さまのお言葉で宝玉は最初から宝玉の形をしていて磨いて輝く玉になると。人は誰もが胸中に宝玉となる石を持っていて。良い師匠を選んで美しく輝く玉に育ててもらいなさいとおっしゃっておられます。「お薬師さまの御縁」正に心の鍵を解いて下さった仏さまではないでしょうか。

合掌低頭礼拝

健太のひとりごと 6

今回、私は人に伝える難しさを実感しました。最近、質問をしていたく事が多くなり、的確な返事が出来たらしいのですが、今の私には解らないこともありまし

た。田中会奉行の考える内容を形にすることで多くの時間を費やしまして、自分が説明

をする事までは考えていませんでした。しかし法要当日、皆様に様々な事を聞いていたでいて自分自身の感覚が今までの感覚と異なりました。様々な役割を勤めてまいりまして、今までは自分が動いて成果を出せばよかったのですが、5月の法要の規模になりますと一人一人の力ではどうすることも出来ず、伝えたいといけないと言う気持ちで一杯で私自身、強張った表情

初の職衆役として 感じたこと

平賀 照教

今回、私は中興300年記念法要で職衆として配役をさせて頂いた頂きました。

いつも私は法要の裏方として参加することが多いのですが、職衆として参加していつもと違う形で法要を見ることのでき、感じたこともありま

で話していたかもしれせん。今回の経験を生かして、どういう状況であれ私自身笑顔で接することを意識し、少しでも心の余裕をもてるように心掛け、落ち着いて相手に伝えられるようにしていきたいです。

した。今回はその両方を経験して思ったことを書いていきたいと思えます。

まず、はじめに職衆の方ですが、配役を指名されたときは法要の序盤ということもあり、させていただけの喜びと、裏方とは違い大勢の皆さまの前で声を出すと言う緊張感で、あがり症の私にとつては不安でしかありませんでした。

そんな中、法要の準備が整う中で自身の準備が整わず法要二日前まで近づいていました。その時、今回法要のお手伝いで高野山で共に修行をした同級生が来ており、その日準備が終わったあと本堂で職員の皆様と同級生に見守られ失敗を繰り返しながら、遅くまで付き合っていた皆さま。そのおかげもあって法要当日、私の出番がくるまで緊張する時間もなく私の出番がきました。いざその場に立つてみると、周りには職衆さんがいて来賓の方々や檀信徒の皆様がいるのにもかかわらず、そこではじめて緊張で足が動かず、無意識で指定の場

緊張を通りこして

私が入っていた場所は管長猥下の斜め右後ろで、そこで私は今までにない経験をしました。

それは、私が目にした景色です。その景色には普段管長猥下しか見られないものが目の前に広がり、いつも見ている景色のほがいつもの雰囲気と違い、圧倒されて緊張を通り越し、何故か自信に変わっていました。私自身の出来栄としては褒められるものではないかもしれませんが、悔いは残っていません。むしろ楽しむことができました。

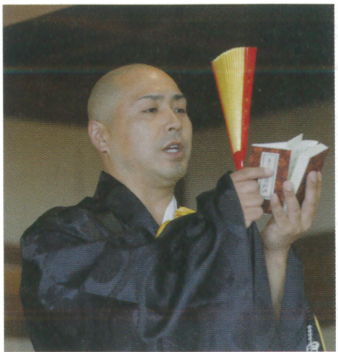
最後になりますが中興法要を終えて私を感じたことは、職衆で入ることで裏方の大事さや、どういふふうに動いているか、職衆の皆様方からはどう見えているか経験できました。次に私が裏方に指名された時には、今回経験したこととを生かし自ら動いて準備できよう精進していきたいとおもいます。

合掌

信者さんに届く 心に残る法会を痛感

長崎県島原市法祥院 酒井 隆安

今回、中興300大法要に庭儀讃頭を務めさせて頂きました長崎県島原市の法祥院、酒井隆安です。



日頃より、本山国分寺管長 猊下様を始め、職員の皆様には大変お世話になりました。有難うございます。

当院は年に1度4月に大祭の催しをさせて頂いておりませんが、毎年、管長猊下様、職員の皆様にお越し頂き、盛大

に執り行わせて頂いており
ます。

本山からお越し頂いて催す
祭典が恒例になり、信者さん
の皆様もこの祭典を楽しみに
されております。

さて、私事になりますが少
しお話をさせて頂きます。

本山の行事に初めてお邪魔
させて頂きました時は、母親
の付き人として同行した時で
した。

全く何もわからない状態で
したが、本山の皆様やお集ま
りの皆様方のお経を聞かせて
頂く機会があり、この素晴ら
しいお経を学びたいという思
いが込み上げてきました。

その思いを本山職員の先生に
お伝えさせて頂きましたと
ころ、快く本山での学びを引
き受けて下さいました。

最初は付の読み方も全く何
もわからない状態で本山へ押
しかけさせて頂きました
が、日々お忙しいにも関わら
ず、合間を縫って分かるま
で、出来るようになるまで熱
心にご指導下さり、付き合っ
て頂きました。

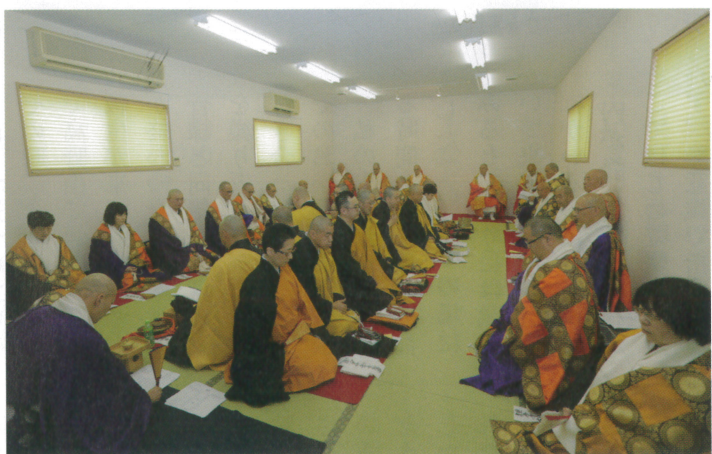
一番最初に教わりましたの
が『四智梵語』でしたが、一
人で唱えることが出来るよう
になった時は私の中に目に見
えない宝の財産ができたよう
な何とも言えない歓喜に溢れ
ました。

無知な私にこれまで沢山の
学びの機会とチャンスを与え
て頂きました。

お陰様で少しずつ習得する
ことができ、一つの学びがあ
ると、次のステップ、また次
のステップへと引き上げても
らい、成長させて頂きました。

勇気と希望を毎回与えて頂
いているようで、人間として
生きる大事な学びをさせて頂
いています。

今回の中興300年記念大
法要では私では到底考え得な
いような庭儀讃頭という大役
を務めさせて頂きました。
庭儀讃頭は法要を執り行う



にあたり、最初に扉を開くよ
うな大切な儀であり、その
重要な役割に大きなプレッ
シャーからの緊張がありました。

長崎からも沢山の方々に来
て頂き、皆さんに見守られて
いる中で、大きな応援を感じ
ながらこんな大役を務めあげ
させて頂いたことが有り難
く、感謝の気持ちでいっぱい
でした。

大法要も滞りなく執り行わ
れ、普段では到底体験できな
いような結縁灌頂などの貴重

なものを信者さん一人
ひとりが体験、体感さ
れ、何か大きな施しを
受けられたという大き
な喜びのお姿を現場に
いた私は目の当たりに
することができまし
た。

信者さんを見ていて
と一人ひとりに喜びを
感じ、普段から職員の方
々が口になされている
「信者さん一人一人の
ためにみんなで作るあ
げる、心に残る法会」
という思いを描いてお
られた法要が信者さん
に届いたことを実感で
き、感動致しました。

今回、一人では何もできな
いこと、沢山のまわりの方
々の支え、導きがあるからそ
学びができ、成長すること
ができ、生きられることを本
当に痛感させられました。

こんな素晴らしい学びの機
会を沢山与えて頂きまして、
管長猊下様、職員の皆様、共
に学ばさせて頂いた教師の皆
様、ご同行頂いた皆様にご
り感謝申し上げます。

有難う御座いました。

中興300年法要と自己満足

木田 知行

「始まりは長く終わりは短
く」というフレーズが思い浮
かびます。準備期間に対して
本番の2日間は短く感じた
という意味ですが、これは私だ
けの感覚かもしれません。気
候も暑くなく逆に5月として
は寒すぎるくらいでわたしに
はちょうどよかったです。

開始時間が近づくにつれ檀
家様、信者様、末寺様の団体
など次々と人が集まり始め
あつと言う間に境内は人で溢
れることになりました。その
光景を御供所でみておしまし
たが、あまりの人の多さに正
直いろいろな面で「大丈夫な
んだらうか?」という心配が
私の中に生まれたのも事実で
す。

まあ、始まってしまえば実
際その流れに乗せていけば案
外なんとかなるもので、と
いうかなんとか言ってまし
た。

そして、20日私が一番心配

な法要が始まりました。前述

した通りの気持ちでおればい
んじやない?と思うでしょ
うがそうは行きません。今度
は自分自身が直接その法要に
参加するんですから!しか
も、直前に同僚に教えても
らって練習もしたとはいえ、
高校以来のその法要内容な
んで緊張を超えてもはや恐
怖じゃありませんか!と
少し息があらくなりました
が、そんな心でいたとお察
してください。

「中曲」と言って、簡単に
言えば普段お唱えしているお
経の一部を特殊な読み方に変
えさらには、歩き(これを行
道と言います)ながらそのお
経をお唱えするというもので
す。そんなこんなで始まっ
た「中曲」ですが、来賓でお
越しいただいた方の中には
各本山のお偉い方々がおら
れる中の行道でしたので全身
が緊張で震えていました。な
にも考える余裕はなかったで

すね。(端から見たら細かい
失敗はたくさんあったと思
いますが)とりあえず自分が
できることは集中してやりき
た、と自己満足しております。
本来「自己満足」という言

薬師如来様のご請願③

岩尾 観水

皆様、本年度の国分寺会
は、多くの方々が結縁灌頂ご
入壇されました。前回、前々
回の新聞では、薬師如来様
のご請願を説明させて頂きま
した。一つ一つ自分に関わり
あることや今この世界で実際
必要とされている教えがある
と思います。私、6月におき
ました新幹線での無差別殺傷
事件に乗り合わせておりまし
た。新幹線が小田原の手前で
止まり、緊迫した場内のアナ
ウンス、12両目付近より私の
乗る6両目まで逃げて来られ
た方々に内容を聞き、近くの
方々のスマートフォンによる
情報により事件が間近で起
こっていることを知りまし
た。被害者の方々、特に正義
感をもって人を守ろうした方

の勇氣ある行動は、何人も
方を救いました。その中で、
犯人である方の人を傷つける
行動を起こす精神状態を防げ
なかったのかということに
は、少し考えなければいけま
せん。周りに話を聞く人がい
なかったのか?もつと世の中
に役に立つような事にその力
をもつて行けなかったのか?
犯人の方が耳を傾ける人は
いないのか?

薬は他の評価を気にせず自分
で自分を評価しその結果に満
足するとの意味があるのです
が、今の時代なぜかマイナス
的な意味合いで使われること
が多いのが残念です。もちろ
ん、自分勝手にわがままなそ

「そう
です。薬師如来様の四
つ目のご請願である悪い考え
の人々を正し皆と同じ悟りに
導くというご請願です。」「そ
んなことをしてはいけない
よ。もつといい事があなたに
もできますよ。」と言う導き
です。人は、一人でいると自
分の中での世界を作り世の中
の善悪を見失います。昔のよ
うに悪いことをしたら怒って
くれる近所の大人は、少なく
なっています。子供たちや善

れはだめですけどね。皆さん
はどう思われますか?
さて、最後になります。本
行事に関わっていただけた
皆様ありがとうございます。
合掌

悪のつかない人たちに善悪を
教え導く人が必要です。善悪
を教え寄り添い正しい行いを
すれば、こういった犯罪も減
ると思います。それは、安心
の出来る世の中につながりま
す。薬師如来様のご請願は、
現代人にとって必要な教え
がたくさん詰まっています。そ
の教えを自らの考えで他人に
施しをする。それにより世の
中の歪んだ思想や不満を少し
でも和らげ、安心して暮らせ
る世の中の第一歩となるので
はないでしょうか。今回結縁
灌頂にご入壇された方もそう
でない方も、その教えと向き
合いながら過ごして頂ければ
薬師如来様もおよろこびにな
られるでしょう。
薬師如来様は、皆様をいつ
も見守ってくださります。私
自身もご請願を少しでも自分
の生活で行動出来る様に精進
して参りたいと思います。

中興300年記念法要

日時 5月20日 12時50分
場所 国分寺金堂



大導師 合田 和教 (国分寺)
 佐々木観教 (観照寺)
 平賀 瑞教 (東国寺)
 齋藤 智範 (弘法寺)
 奥村 法寛 (密修寺)
 名幸 観淳 (淡路高野寺)
 渡辺 恵祥 (観音寺)
 木田 弘正 (月峯寺)
 平賀 智教 (寶蔵寺)
 門倉 弘道 (感応院)
 深田 政範 (葉師寺)
 南松 智尙 (清水寺)
 金戸 弘賢 (西福寺)
 齋藤 智弘 (弘法寺)
 秦野 教弘 (弘聖院)
 村山 晃照 (慈恩寺)
 黒木 眞照 (龍最寺)
 鶴岡 龍祥 (観音寺)
 齋藤 裕照 (弘法寺)
 門倉 蓮妙 (感応院)
 佐藤 実峰 (明王寺)
 佐々木明教 (観照寺)
 酒井 教安 (法祥院)
 村上 瑞恵 (東国寺)

渡辺 昭門 (愛染院)
 永井 瑞憲 (東国寺)
 木田 知行 (月峯寺)
 岩尾 観水 (淡路高野寺)
 瀬上 明俊 (光明寺)
 菱田 弘惣 (感応院)
 双葉 恵月 (愛染院)
 上津原壽晃 (慈恩寺)
 平賀 照教 (寶蔵寺)
 讚頭 中澤 雅彦 (東国寺)
 久保田備法 (愛染院)
 中曲経頭
 澤田 恵鳳 (密修寺)
 酒井 隆安 (法祥院)
 寺務局長
 糟谷 眞教 (最勝王院)
 故実者
 名幸 観教 (淡路高野寺)
 会奉行
 田中 全義 (極楽寺)
 管長随員
 黒木 法教 (龍最寺)
 随喜衆
 渡辺 明祥
 地代所光祥
 今仁宗眞 山岸康慶
 早田空順 琢磨幸尚
 諏訪部隆道 笹尾正憲
 前川良基 深水弘裕
 山下祐文 西山哲正
 田尻哲崇 横谷英泉
 平野龍雅 山本瑞眞

北島眞紹 大塚知明
 お手伝い
 糟谷みちこ 神田実稀
 山田南美 山田大地
 竹澤玲子 渡辺ゆう子
 喜多村みか 黒木理沙
 合田眞純 平谷久弥
 小島充史 山本 駿
 立川恒輝 吉田奈央



お手伝い 法祥院
 林田哲明 荻原康代
 木村恵子 松井美穂
 笹田 茜 松尾サツ子
 木村秀幸 福田和幸
 田浦太一郎 本坊勝道
 本坊久仁子 坂本陸美
 植木啓子 野田佳子
 中川保子

参列 平川常照 平川弘道
 後藤勲誠
 職員 竹澤成時
 看護師 竹下晴美
 撮影 岡田浩祥
 法螺 鶴田修士 笠原貴雄
 川原一修 上林孝徳
 敬省略



これから国分寺 笑顔溢れ人が触れ合う寺に

宗務総長 糟谷 眞教

毎々真言宗国分寺派 大本山 国分寺護持にご尽力賜り、先の快圓律師中興300年記念大法会に向けての寄進事業に際しまして、先ずはすべての末寺教師檀信徒の皆様には言葉尽くして見つからない程深く感謝する次第で御座います。約8年に渡り伽藍修復事業を進めてまいりました中で、たくさんの方々からご厚情により無事終えることが出来ましたこと誠にありがとうございます。国分寺の長い歴史の中ではほんの1ページに過ぎませんが、かつて快圓律師も荒廃し伽藍もない中からの復興は如何に大変であったかを少しは感じることが出来ました。300年前と言わず先の大戦でも伽藍がほぼ焼失した中からの復興は並外れた大変さがあったのだらうと思ふその大切な伽藍を修復できたことにとっても有難く感じているところです。しかしながら伽藍が美しくとも中身がなければ何の意味も御座いません。中身とは人です。

真言宗国分寺派としましては合田和教管長の元、人の育成に力を入れて参りました。これからもこの流れは激むことなく流れていくように末寺教師の皆様と共に協力し努力しなくてはなりません。ご理解とお力添えを今後どうぞよろしくお願い申し上げます。世の中では昔前では考えられない事件も多発しており、これも便利なものに頼り過ぎていくのがひとつの原因なのかもしれません。人として高度に進化してきた要因に言葉があります。現代ではその大切な言葉を直接かわすことなく顔さえ見ずに会話が出来ると便利な世の中です。これでは相手の表情やしぐさで本心を探ることができません。人が本来持ち合わせている感覚が研ぎ澄まされることなく過ぎてしまふので表面上しか理解できない。これでは真の意味での相互理解は生まれません。便利さを追求する余り本当に大切なことが忘れ去られているよう

暑中お見舞い申しあげます。皆様のおかげをもちまして本年の中興法要を無事に執行出来まして一安心しております。本年の「快圓律師中興300年記念大法会」を終えて思うことは、皆様との「一体感」です。我々は中興法要に向けて2年間に渡り全国で講習会を行なっております。その中で、講習会中は失敗ばかりしていたで大丈夫かなと思つていた教師の方が、法要当日には

一体感

執事長 名幸 観教

自信を持って本堂の中を行道している姿を裏から見て感動しました。もちろん本人の努力の賜物であります。根気強く何度も講習を行つていた先生との相乗効果で良い結果でなりません。お寺に来ればこの様なこともなく笑顔があふれ、人と人が触れ合う場所としてこれからはも護つていくよう努めてまいります。宜しくお願い申し上げます。 合掌 眞教

がついてきたのではないかと。また2日間の法要の中で、今まではなかった光景がありまして、ある1人の教師の方が悩んで下を向いていたから、周りに居た方々が話を聴いて一緒に問題を解決し、良い結果が出て喜んでいたら自分の事のように一緒に喜ぶ。その様な事が各場所・各場面で行われており、幸せな光景を数多く見られました。様々な経験を積み、自分自身や周りの方々を考える。そして今まで寺報の中で「皆様と共に創り上げる法要」を目標にしていましたが、この法要で僧侶・参拝の方・お手伝いの方の一体感を実感することが出来ました。この事は私自身も今まで進めてきた事の結晶として自信になりました。最後にになりましたが、本年の記念大法会に御賛同・御参加頂けました全ての方々にお礼申し上げます。この2か月で多くのお褒めの言葉・おしかりの言葉等、様々な御指導を頂戴致しました。私自身も各企画を勉強していく中で、今まで以上に力を入れて学びたいと思ふ分野が出てきましたので、勉強し成長していきたいと考えています。今後共、期待していただいている皆様の想いをしっかりと心に受け、1つ1つ役割を丁寧に努め、結果を積み重ね歩んでいく所存でございます。ありがとうございます。 合掌

春の団体参拝 福井 若狭塗箸体験も

去る平成30年3月25日（日）、恒例となりました団体参拝が行われました。毘紐山龍最寺一行と合流し、名水部門日本第2位、瓜割の滝のある天徳寺へ。福井県の山間にあるお寺で自然が溢れ、マインスイオンを感じるような場所でした。

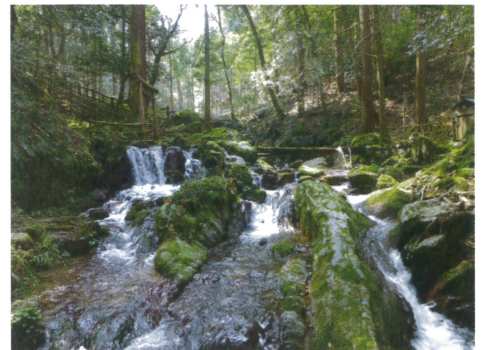
次に訪れたのは若狭塗り箸の若狭塗箸を研磨し模様を作りオリジナルの箸を作る体験をさせて頂きました。軽快な社長のお話を聞きながら研



験、皆様「こんなもようになつた。」「それいい感じやね。」など楽しみながら箸の制作をしてい



ました。昼食は小浜へ移動し名物の焼き鯖などをお腹いっぱい堪能し、一行は舞鶴金剛院へ仏師快慶作の深沙大将立像や重要文



化財三重の塔など見ごたえのある宝物を見学、住職による御法話も頂き宝物殿内は、額きがたえませんでした。金剛院を後にし、舞鶴とこれとれセンターにてお土産のお買い物、新鮮な海の幸を買って帰られる方がたくさんおられました。

団体参拝にご参加頂きました皆様、楽しく勉強になる参拝にご協力頂きまして誠にありがとうございました。次回、秋の団体参拝は、京都大覚寺の戌戌開封法会特別公開「嵯峨天皇般若心経」を中心として10月21日（日曜日）で予定しております。60年に1度の貴重な特別公開ですので皆様お誘い合わせの上ご参加ください。

春彼岸会 国分寺昭和金堂

平成30年3月21日（水曜日）国分寺昭和金堂にて春彼岸会が行われました。足元の悪い中、午前中よりたくさんの方がご来寺なされました。卒塔婆に戒名を書入れ、堂内には供養の経が絶えず響いておりました。



午後1時より国分寺職員による総廻向が行われました。午前中までに申し込まれた卒塔婆を丁寧に供養させて頂きました。

平成30年度 下半年行事日程

8月16日	施餓鬼供養	10月21日	秋の団体参拝
8月23日	地藏盆会	12月31日	正月会
9月23日	秋彼岸会 (百万枚護摩供)		

平成30年度 入宗者

山内 全範 (奈良県)
上津原 壽晃 (熊本県)
小山 道信 (埼玉県)

() は、師僧の現住所、入宗者順、敬省略

MK 良い材料で良い住まい

生コン・建築材料・工具資材全般・リフォーム・外柵・ブロック・各種工事施工

(株)マキタ特約店

有限会社 南建材社

〒531-0041 大阪市北区天神橋7丁目12番4号
TEL 06-6351-5516 (代表)・4698
FAX 06-6353-6439
URL http://www.minamikenzai.co.jp

家族葬専門葬儀社

山葬 yamasou

1. 山葬はご家族の想いを大切にいたします。
2. 精一杯お手伝いさせていただきます。
3. ご家族・友人でおくる低価格の家族葬をご提案いたします。

〒530-0026 大阪府大阪市北区神山町10-13 KENTUCKY II 501
TEL 06-6365-1771 FAX 06-6365-1772
携帯 090-7487-6889 (山本)
E-mail yamasoumail@gmail.com
URL http://www.nisso-osaka.com

納得価格で、誰もが満足のいく葬儀を提供します。 無理のない、充実した家族葬

創業明治十年 直葬から一般葬まで 家族葬の川上葬祭

大阪市規格葬儀取扱指定店 厚生労働省認定 葬祭ディレクター技能審査 1級葬祭ディレクター在籍
本社：生野区桃谷1-10-10 キタ店：北区天神橋6-1-1 天王寺店：天王寺区寺田町1-3-5

電話受付 24時間 (年中無休) 0120-420-441

寶蔵寺・南野霊園

私たちは
感謝の気持ちをこめて
安価なお墓を
提案しています。

〒575-0022 四條畷市南野2557-1
TEL 072-862-0594

総本山・各寺院・講社御用達

土産物一式、各種念珠、仏具仏像、位牌、軸物、仏書経木、経木塔婆、各種守札、杓子、金剛流御詠歌法具、教典一式

珠数屋佳兵衛

たんげ

和歌山県高野山 電話高野(0736) 2159番
振替 00960-8-68291 郵便番号 648-0211

仏壇 翠光堂

淡路駅前店 〒533-0032
大阪市東淀川区淡路4の9の12
電話 06(6324)0801(代表)

創業80年 葬儀社花熊 家族葬専用式場



Flower Hall

花熊フローベアホール 大阪市北区長柄西1丁目3-33
北斎場前 0120-130-930

編集後記

中興法要を無事に終えて思うこと。それは「つまかさね」です。国分寺会に初めて参拝される方、毎年参拝される方の想い。僧侶の方のたえない努力・勉強。そして実践での経験。成功と修正を繰り返し何年も積み重ね、そして想いを一つに今年も素晴らしい法要を執行できました。

今後多くの「つまかさね」を増やし、国分寺にお参りに来て良かったと皆様に参拝していただけるよう精進して参ります。